

## 令和5年度旭区区民意識調査の結果がまとまりました！

～「旭区に住み続けたい方」が**過去最高の83.2%**～

旭区では、区民の皆様の生活環境や地域活動への意識や要望を知り、今後の区政運営の基礎資料とするため、区民意識調査を実施しました。このたび、調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

### ■ 調査結果のポイント ※別添概要版もご参照ください。

#### ① 旭区の定住意向

「旭区に住み続けたい方」（「今住んでいる地域に住み続けたい」と「旭区内の他の地域に住みたい」の合計）が**過去最高の83.2%**（3.9%↗）。

#### ② 旭区の誇れること

旭区の最も誇れることの上位2項目は、調査開始（平成18年度）以降、「都心に程近いのに閑静な住み心地」と「大規模な公園など」。

#### ③ 生活環境の満足度

生活環境全般の満足度が**過去最高の58.0%**（5.3%↗）。項目別では「バスや鉄道の利便性」の満足度が**過去最高の66.1%**（7.4%↗）で、初めて1位を記録。「以前と比べてよくなった」の項目でも1位を記録。

（↗：前回（平成30年度）調査時より増加）

### 調査概要

調査期間：令和5年6月26日（月）から7月10日（月）まで

調査対象：区内に居住する18歳以上の男女3,500人

抽出方法：住民基本台帳、外国人登録原票から無作為抽出

調査方法：郵送による調査票の発送及び回収、インターネット調査

回収結果：1,676件（回収率47.9%）

### 報告書について

旭区ホームページ又は旭区役所区政推進課（2階23番窓口）でご覧いただけます。

※ 報告書【全体版】については、3月上旬に公表予定です。

#### 【旭区ホームページ URL】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/kusei/tokei/kuminishikityousa.html>

▼HPはこちら



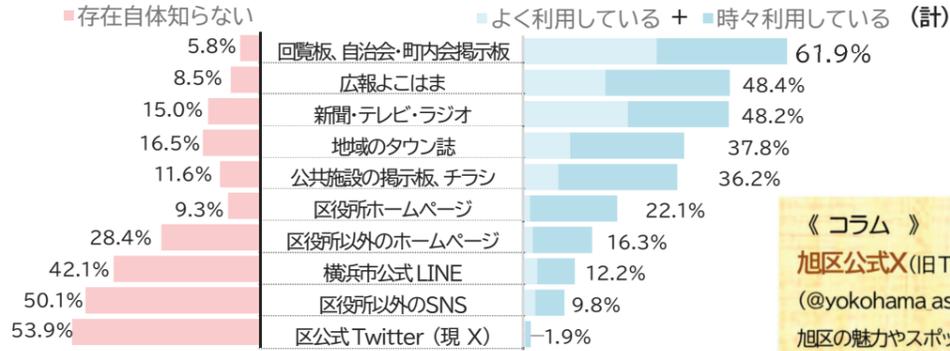
#### お問合せ先

旭区区政推進課長 蒲田 仁 Tel 045-954-6025

## 旭区に関する情報源

問 あなたは普段、旭区に関する情報源(区役所からのお知らせ・イベント情報など)として、どのようなものを利用されていますか。(〇印はそれぞれひとつだけ)

最も利用されているのは「**回覧板、自治会・町内会掲示板**」



### 《コラム》

旭区公式X(旧Twitter) (@yokohama.as)では、旭区の魅力やスポット紹介、子育てサポート情報、行政情報などの旭区のお役立ち情報を日々タイムリーに発信しています。

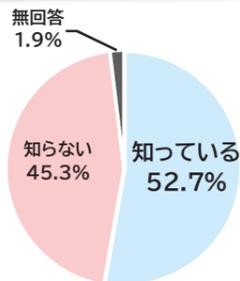


旭区公式Xはこちら

## 健康

問 社会参加(就労・ボランティア・町内活動・運動や趣味のグループ等への参加)が介護予防に効果的と知っていますか。(〇印はひとつだけ)

「知っている」が**52.7%**



### 《コラム》

旭区内には、身近な所で仲間と一緒に介護予防・健康づくりに取り組むグループがたくさんあります。「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」で検索か、お近くの地域ケアプラザへお問合せください。



検索ナビはこちら

問 認知症の人とご家族を地域で支えるために、どのような手助けができますか。(〇印はいくつでも)

認知症の人とご家族にできる手助けは、

「**日常的な挨拶などのご近所づきあい**」と「**本人が困っている様子を見たら、声をかけるなど助ける**」が半数以上

認知症の人とご家族にできる手助け		
1位	日常的な挨拶などのご近所付き合い	54.5%
2位	本人が困っている様子を見たら、声をかけるなど助ける	54.2%
3位	相談機関(地域ケアプラザ、医療機関など)を紹介する	21.3%
4位	ご家族の話を聞くなど相談相手となる	19.1%
5位	分からない	17.1%

### 《コラム》

旭区では、「あれ?認知症かな?」と感じたときに役立つヒント(対応方法や相談先等)をまとめた「旭区版認知症ケアパスガイド」を発行しています。



旭区版認知症ケアパスガイドはこちら

※ 各項目の比率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入して算出しています。

※ 図表中の↗は、平成30年度に実施した前回の区民意識調査時より増加したことを示しています。

発行日: 令和6年2月26日

発行: 旭区役所区政推進課企画調整係

電話: 045-954-6026

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰1-4-12

FAX: 045-951-3401

# 令和5年度旭区区民意識調査 調査結果報告書【概要版】



調査報告書はこちら

旭区マスコットキャラクター あさひくん

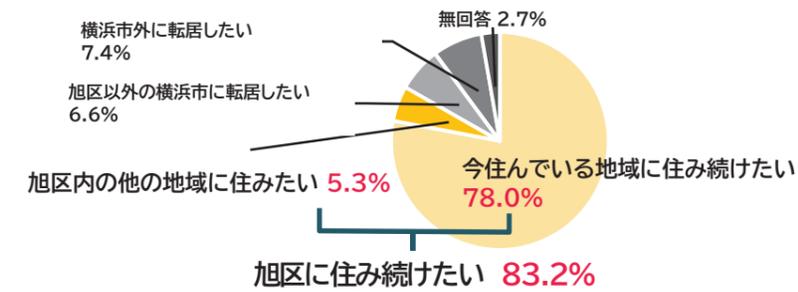
旭区では、区民の皆様の生活環境や地域活動への意識や要望を知り、今後の区政運営の基礎資料とするため、平成18年度から区民意識調査を実施しています。今回は5年ぶりに実施しました。調査結果から特徴的な内容をまとめています。多くの方にご回答いただき、ありがとうございました。

対象者・抽出人数	区内に居住する18歳以上の方 3,500人(外国人含む)	対象者の抽出方法	住民基本台帳と外国人登録原票から無作為抽出
調査方法	調査票を郵送、郵送回答又はインターネット回答	調査期間	令和5年6月26日(月)~7月10日(月)
回収標本数	1,676票(回収率47.9%)		

## 定住意向

問 あなたは、これからもずっと今お住まいの地域に住み続けるお気持ちですか。(〇は1つ)

旭区に住み続けたいと思っている人は**過去最高の83.2%** (3.9%↗)

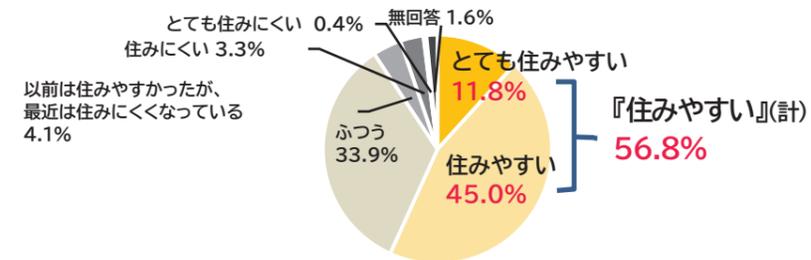


### 《参考》

令和5年度市民意識調査  
市民意識調査でも現住地定住意向  
(「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の合計)が  
18区で最も高い81.5%

問 あなたは、旭区の住み心地をどう思われますか。(〇は一つ)

『住みやすい』(計)と思っている人は**過去最高の56.8%** (2.9%↗)



特に20代30代の若い世代で大きく増加

	20代	30代
R5	66.3% (11.4%↗)	60.3% (8.2%↗)
H30	54.9%	52.1%

問 あなたのお住いの地域の住みやすいと思われる点を教えてください。(〇はいくつでも)

住みやすい点は

1位 **緑が多い** 49.0%、2位 **交通の便がよい** 48.3%、3位 **買い物がしやすい** 47.4%

## 旭区の誇れること

問 あなたが、「現在の」旭区について友人や知人に誇れること・ものは何ですか。(〇は1つ)

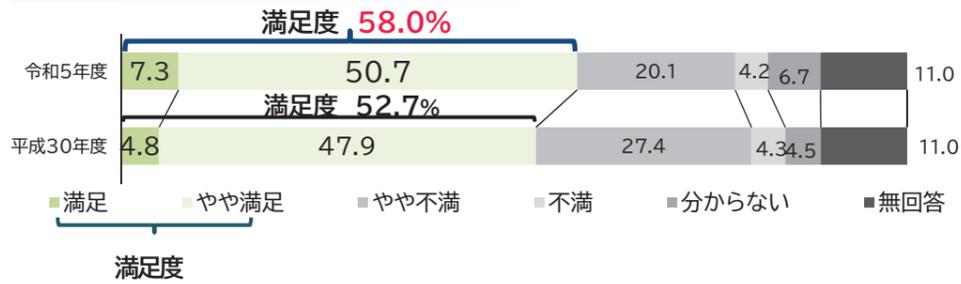
最も誇れること上位2項目は調査開始以降「**都心に程近いのに閑静な住み心地**」と「**大規模な公園など**」

旭区の誇れること		
1位	都心に程近いのに閑静な住み心地	28.4%
2位	大規模な公園など(ズーラシア、里山ガーデン、こども自然公園)	24.3%
3位	県内・外の有数施設(二俣川の免許センター・がんセンターなど)	12.9%
4位	幹線道路の利便性(国道16号バイパス)	8.7%
5位	身近にある豊富な水・緑(帷子川、ホテル、市民の森、ウォーキングコース)	6.9%

## 生活環境の満足度

問 旭区の生活環境についてお聞きします。現在、どの程度満足していますか。(〇は1つ)

生活環境全般の満足度が**過去最高の58.0%**(5.3%↗)



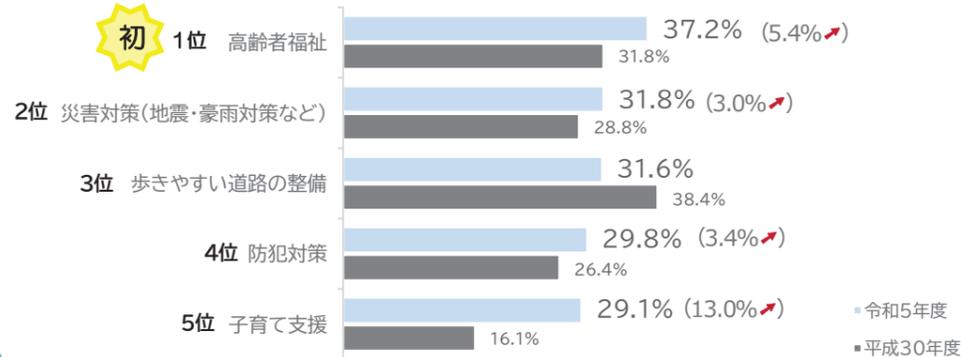
項目別では「**バスや鉄道の利便性**」の満足度が**過去最高の66.1%**(7.4%↗)で、初めて1位を獲得

問 現在、どの程度満足していますか。(〇は1つ)	満足度(「満足」+「やや満足」の合計)	問 以前(4~5年前)と比べてどのように変わりましたか。(〇は1つ)	以前(4~5年前)と比べてよくなった		
1位	バスや鉄道の利便性	66.1%	1位	バスや鉄道の利便性	41.2%
2位	駅舎へのエレベーター設置などのバリアフリー対策	63.3%	2位	駅舎へのエレベーター設置などのバリアフリー対策	32.7%
3位	買い物の利便性向上	58.6%	3位	最寄り駅周辺の整備	30.5%
4位	区役所の窓口対応	57.2%	4位	買い物の利便性向上	23.8%
5位	公園・水辺の遊び場・緑地の整備	57.0%	5位	都市計画道路など幹線道路の整備	20.3%

## 行政に期待する取組

問 区役所が取り組む課題として、どれが特に重要だと思いますか。(該当する項目の番号を5つまで)

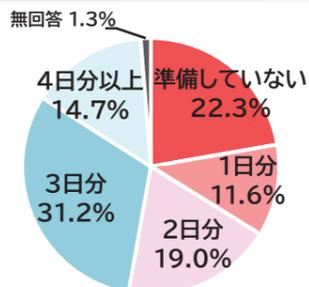
**高齢者福祉が初の1位**、このほか「災害対策」、「防犯対策」、「子育て支援」も行政への期待が増加傾向



## 防災

問 あなたのご家庭では、災害に備えて何日分の食料、飲料水(1人1日あたり3リットル以上)を準備していますか。(〇印はひとつだけ)

推奨している**3日分以上備蓄している人は45.9%** 備蓄していない人は22.3%



備蓄していない理由		
1位	保管する場所がないから	34.0%
2位	何を準備すれば良いかわからないから	21.4%
3位	特になし	21.2%
4位	急いで準備する必要はないと思うから	16.6%
5位	費用がかかるから	13.9%

《コラム》  
備蓄する量の目安は**最低3日分**です。家族構成を考えて、必要な備蓄をしておきましょう。  
「備蓄について」  
はこちら

## 地域が取り組むべきもの

問 あなたのお住まいの地域で、地域の住民同士が取り組むべきものには、どのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)

1位は **防災・減災や災害時への備え**

1位	防災・減災や災害時への備え	46.7%
2位	交通安全や防犯	42.5%
3位	高齢者や障害者などへのサポートや見守り、介護をしている人への支援	39.9%
4位	住民同士の交流や助け合いの促進	39.0%
5位	子どもの見守りや子育て中の人への支援	36.9%



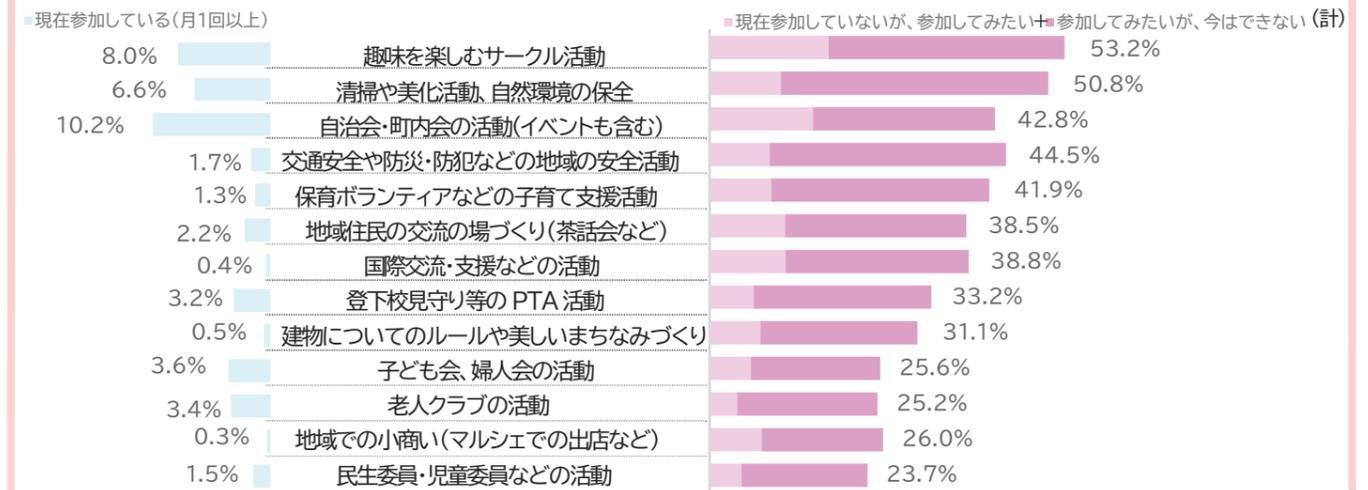
《コラム》  
旭区では、大地震が発生した際に、となり近所の助け合いとして“みんなで生き残るための取組”をわかりやすくリーフレット形式でまとめた「旭区ご近助マニュアル」を発行しています。  
「旭区ご近所マニュアル」  
はこちら



## 地域活動

問 あなたは、現在、どのような地域活動に参加していますか。また、現在参加していない活動に今後参加してみたいですか。(〇印はそれぞれひとつだけ)

現在参加している人は少数だが、**参加してみたいと思っている人はもっと多い**



《コラム》  
旭区市民活動支援センター「みなくる」では、生涯学習・ボランティア活動・地域活動を始めたい方の相談を受け付けています。  
また、これから地域デビューしたい人向けの講座の開催や、会員を募集しているサークルを紹介する「旭区サークルガイド」を発行しています。



## 子育てに関する情報源

問 妊娠中や子育て中の方に伺います。子育てに関する情報をどこから得ていますか。(〇印はいくつでも)

情報源は「**友人・知人**」が最も多い、「**SNS、インターネット等**」は約4割

1位	友人・知人	58.7%
2位	家族・親戚	46.3%
3位	SNS、インターネット等	43.8%
4位	保育園・幼稚園・学校	39.9%
5位	区役所からの案内やチラシ	16.0%

《コラム》  
旭区では、主に乳幼児期から未就学の親子にお出かけ場所・相談場所を紹介する旭区子育てガイドブック「とことこ」を発行しています。



「とことこ」はこちら